

ITmedia リードジェン特集

ピックアップテーマ

注目テーマや最新のトピックにフォーカスした
特設ページで認知向上も実現

■特集期間

2026年10月26日（月）～12月25日（金）予定

■お申込み締切

コンテンツ制作あり：2026年9月9日（水）

コンテンツ制作なし：2026年10月2日（金）



目次

P6～ IT全般

P17～ 製造

P26～ 建設

P30～ 制作物仕様・オプション

業界・職種	特集タイトル
IT全般	AIを現場の即戦力に変える オンプレミスでのデータ基盤構築
	高度化する脅威に立ち向かう AIで自動化する『防御・検知・遮断』の最新セキュリティ対策
	便利の裏に潜むリスク AIエージェントを安全に活用するセキュリティ対策
	業務効率化とセキュリティを両立する最適解『AI PC』特集
	夜間対応・休日出勤からの脱却 現場を救う『自律型』運用マネジメント
	AI活用・ビジネスの急成長を支える データセンター&クラウド最適化戦略
	決済・請求DX キャッシュフローを改善する最新ソリューション
製造	サプライチェーンの新基準「SCS評価制度」対策
	欧州サイバーレジリエンス法（CRA）対応へのロードマップ
	需要予測から生産計画までを繋ぐ「AIサプライチェーン最適化」
	AI時代を支える「ものづくりのデータ基盤としてのPLM」
	SDV時代を勝ち抜く 車載ソフトウェア開発の最前線
	AIで実現する設備保全の技術伝承
建設	建設×AI ～現場“雑務”はAIに任せる時代、AI実装ガイド～

ピックアップテーマとは

専門メディア編集部が注目するテーマについて、編集記事を集約した特集ページを開設
メディアと連携した企画展開で、貴社コンテンツをターゲット読者・会員に訴求します



特集ページを開設

編集部が注目するテーマについて特集ページを開設します。貴社コンテンツに加えて編集部による解説や関連する編集記事を掲載して、専門性が高く情報収集に熱心な読者に情報発信をします。



認知向上も実現

専門メディアバナー広告枠を利用し、本特集ページへメディア上から誘導をかけます。通常のリード獲得案件に比べてターゲット読者・会員の認知向上も実現できます。

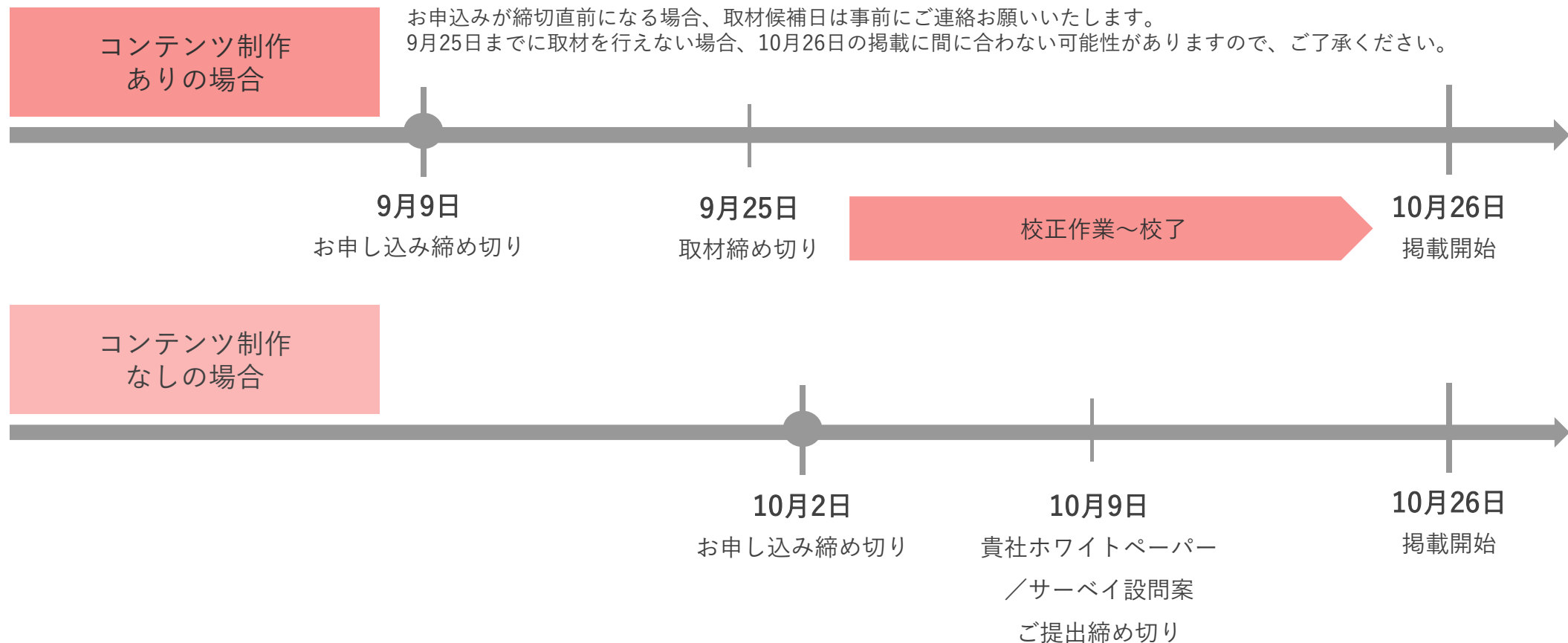


コンテンツ制作付き お得なプラン

本特集ならではの費用対効果を見込めるお得なプランを用意しております。PRする絶好の場として、本特集をご活用いただけますと幸いです。

スケジュール_ピックアップテーマ

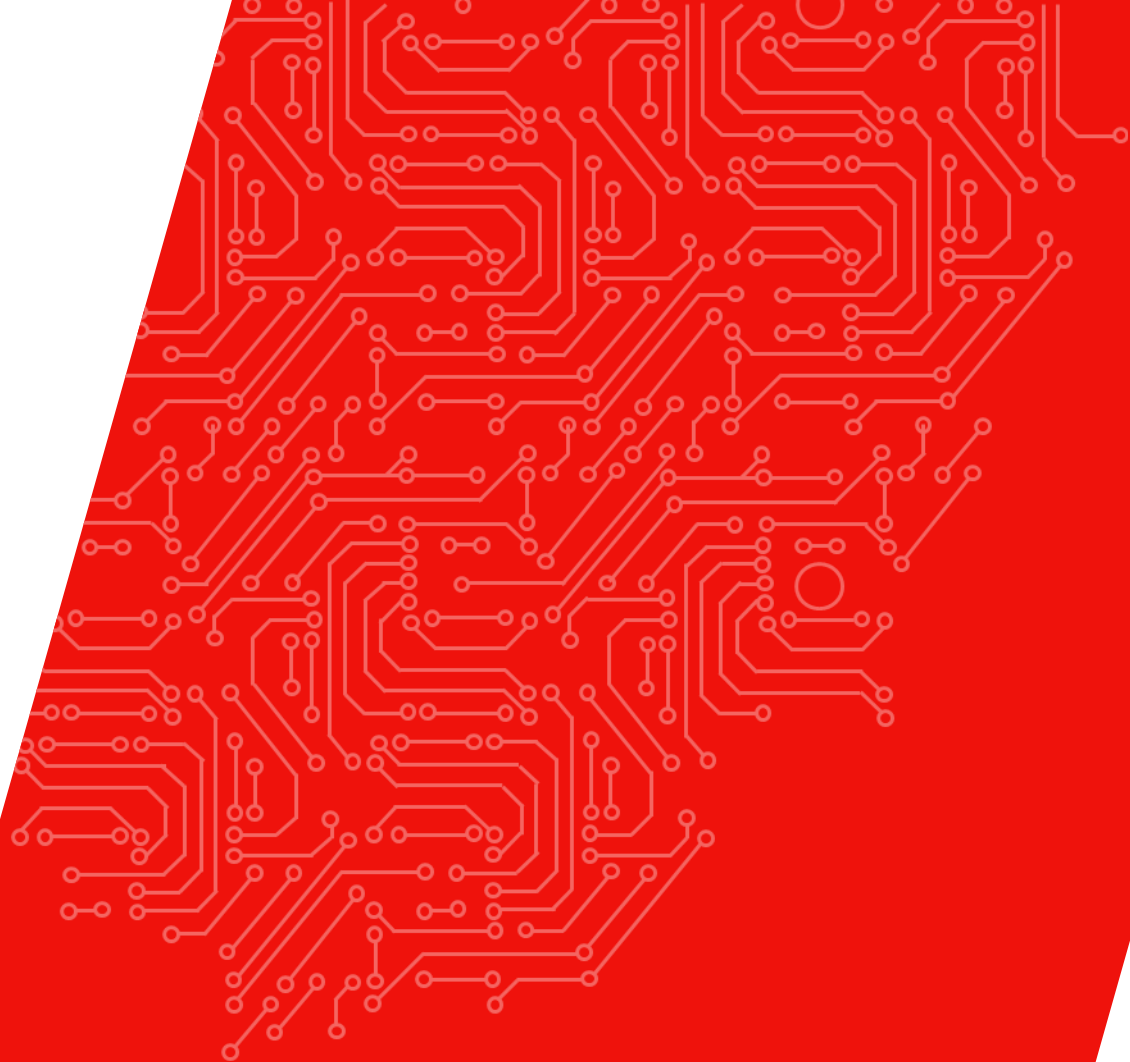
コンテンツ制作の有無によって、お申し込み締め切り日をはじめとした各種スケジュールが異なります。ご注意ください。



※上記は標準時のスケジュールとなり、校正の回数が増える場合や特別対応の場合、上記と異なる場合もございます

※取材日、貴社コンテンツの支給が締め切りより大幅に遅れた場合、特集ページに掲載されない場合がありますので、ご了承ください

IT全般



AIを現場の即戦力に変える オンプレミスでのデータ基盤構築

多くの企業がAIの社内実装を進める中、「期待した成果が出ない」という壁に直面しています。AI技術を現場の業務に組み込み、即戦力化するためには膨大なデータを効率的かつ安全に処理するデータ基盤の構築が必要不可欠です。セキュリティ要件などからオンプレミス環境の再評価が進む一方で、具体的な課題も顕在化しています。本特集では、データのサイロ化の問題や、RAG（検索拡張生成）の精度、AIが扱えない状態の社内データといった課題を抱えている情シス担当者、DX推進部門の方に向けて情報発信します。AI活用を推進するために、必要不可欠なオンプレミスでのデータ基盤の構築に有効な貴社のソリューション／サービスの事例・特徴を訴求する場としてご活用ください。

キーワード	オンプレミスサーバー、RAG、ローカルLLMEAI、ETL、iPaaS、Data Warehouse、Data Lakehouse、データクレンジング・データマネジメント、ベクターデータベース など
読者の課題	部門間でのデータのサイロ化、AIが処理できない「非構造化データ」の散在、AIの回答精度の低さ、AIとデータ基盤を統合・運用できる人材不足 など
想定リード属性	情報システム部門の意思決定者、ITインフラ・サーバ管理者、DX・AI推進担当、経営企画 など
実施メディア	TechTargetジャパン
実施期間	2026年10月26日（月）～12月25日（金）予定
申込締切	コンテンツ制作あり：2026年9月9日（水） コンテンツ制作なし：2026年10月2日（金）
提供リード数例	150件保証～（プラン毎に異なります）
料金例	120万円～（プラン毎に異なります）

※上記日程以降にコンテンツ制作がスタートする場合、ページオープン時に間に合わない場合がございます
※締切日以降の後乗りも可能ですが、掲載開始時期によっては特典の一部をご提供できかねる場合があります

特集ページイメージ

The screenshot shows a TechTarget Japan article page. The main headline is 'ビッグアップテーマ: ビジネスの効率化と競争力強化を実現 クラウド ERP'. Below the headline, there is a sub-headline 'クラウド環境で提供される統合的な基幹業務システムである「クラウドERP」」。クラウドERPはビジネス現場の変化やリソースの最適化に貢献するだけでなく、スケーラビリティやセキュリティの面で企業に大きな価値をもたらしている。オンプレミスよりもコストが削減できる点も、中小企業においても需要が高まっているポイントだ。実装導入を検討する際にはカスタマイズ性やサポート体制なども考慮し、企業規模と業務の複雑さに応じた最適なソリューションを選択したい。本特集では自社にとって最適なERPシステムを構築する目的に向けて、おすすめのコンテンツを提供する。

■ 日本イオルク株式会社
■ 時代遅れのレガシーERPが企業にもたらす「8つの害」とは？
■ 今、企業が「クラウド財務会計」へ移行している理由
■ 便利だが課題も多い、スプレッドシートから脱却する意義とその実現方法
■ グローバル企業が抱える、コンプライアンスと内部統制の課題を解消する方法とは
■ CIOや経営スリーパーは必見、クラウドERPがもたらすメリットを享受するには
■ 組織がビジネス成長を遂げるため、ポストモダンERPを導入すべき理由

■ 会員登録（無料）
4000社以上のホワイトペーパーから、技術者や導入担当者、IT導入の意思決定者に役立つ資料を簡単に入手できます。

高度化する脅威に立ち向かう AIで自動化する『防御・検知・遮断』の最新セキュリティ対策

サイバー攻撃が巧妙化・高速化を遂げる今、人手による監視を中心とした防御モデルは限界を迎えています。本特集では、AI技術を活用して高度な脅威をリアルタイムに「防御・検知・遮断」する、次世代のセキュリティ対策に焦点を当てます。「AIによるセキュリティ運用の自動化」を模索する情シス責任者やセキュリティ担当者へ向けて、検知の高度化や対応自動化を実現する、貴社の先進的なセキュリティソリューションや導入事例を強力に訴求する場としてご活用ください。

キーワード	EDR / XDR、SOAR、SIEM、WAF / WAAP、NDR、MDR、SOC、生成AI搭載型セキュリティ分析プラットフォーム、メールセキュリティ、AI自動診断型・脆弱性管理 など
読者の課題	セキュリティ攻撃の高度化、セキュリティ製品の多層化に伴うアラートの分析量の多さ、インシデント発生時のタイムラグ、セキュリティの人材不足 など
想定リード属性	情報システム部門の意思決定者、情報セキュリティ責任者（CISO）、セキュリティ管理者、BCP策定担当、リスク管理部門、経営企画職 など
実施メディア	TechTargetジャパン
実施期間	2026年10月26日（月）～12月25日（金）予定
申込締切	コンテンツ制作あり：2026年9月9日（水） コンテンツ制作なし：2026年10月2日（金）
提供リード数例	150件保証～（プラン毎に異なります）
料金例	120万円～（プラン毎に異なります）

※上記日程以降にコンテンツ制作がスタートする場合、ページオープン時に間に合わない場合がございます
※締切日以降の後乗りも可能ですが、掲載開始時期によっては特典の一部をご提供できかねる場合があります

特集ページイメージ



便利の裏に潜むリスク AIエージェントを安全に活用するセキュリティ対策

自ら判断し業務を完結する「AIエージェント」の登場は、企業の生産性を爆発的に向上させる一方、新たなセキュリティリスクをもたらしています。従来のチャット型AIとは異なり、システム連携やファイル操作など高い権限を持つため、一歩間違えればデータの不正消去や機密漏洩に直結しかねません。本特集では、AIエージェント特有の脅威であるプロンプトインジェクションや過剰権限のリスクにフォーカスします。利便性を損なわずに「安全なガードレール」を敷くための認証管理、アクセス制御といった安心・安全な次世代AI活用のために必要なセキュリティ対策を提示します。

キーワード	AIリスク管理（TRiSM）プラットフォーム、IAM/IGA、LLM専用ファイアウォール、APIセキュリティ・API保護ソリューション、データセキュリティAIセキュリティ診断・ペネトレーションテスト（脆弱性診断）、CASB、シャドーAI検知ソリューション など
読者の課題	AIエージェントに付与するシステムアクセス権限の範囲設定、AIへの悪意ある指示による社内データの不正操作や書き換え、シャドーAI、情報漏洩リスク など
想定リード属性	情報システム部門の意思決定者、情報セキュリティ責任者（CISO）、セキュリティ管理者、BCP策定担当、リスク管理部門、経営企画職 など
実施メディア	TechTargetジャパン
実施期間	2026年10月26日（月）～12月25日（金）予定
申込締切	コンテンツ制作あり：2026年9月9日（水） コンテンツ制作なし：2026年10月2日（金）
提供リード数例	150件保証～（プラン毎に異なります）
料金例	120万円～（プラン毎に異なります）

※上記日程以降にコンテンツ制作がスタートする場合、ページオープン時に間に合わない場合がございます
※締切日以降の後乗りも可能ですが、掲載開始時期によっては特典の一部をご提供できかねる場合があります

特集ページイメージ



業務効率化とセキュリティを両立する最適解『AI PC』特集

企業の生産性向上に不可欠となった生成AIですが、「機密情報のクラウド流出リスク」や「通信コスト」が導入の壁となっています。その解決策として今、普及しているのが「AI PC」です。本特集では、端末ローカルで安全かつ高速にAIを駆動させ、業務効率化と強固なセキュリティを両立するAI PCを特集します。最新のNPUがもたらす劇的な処理能力、社外秘データを守るセキュアな運用環境など活用ユースケースを発信します。AI PCを活用した次世代のワークスタイルの訴求に本特集をご活用ください。

キーワード	AI PC、次世代プロセッサ、エッジAI / ローカルLLMソリューション、端末紛失・情報漏洩対策ツール、エンドポイントセキュリティなど
読者の課題	機密データの漏洩リスク、クラウド・AI使用に伴うネットワーク帯域の逼迫コスト増、業務効率化 など
想定リード属性	情報システム部門の意思決定者、ITインフラ・サーバ管理者、DX・AI推進担当、経営企画 など
実施メディア	TechTargetジャパン
実施期間	2026年10月26日（月）～12月25日（金） 予定
申込締切	コンテンツ制作あり：2026年9月9日（水） コンテンツ制作なし：2026年10月2日（金）
提供リード数例	150件保証～（プラン毎に異なります）
料金例	120万円～（プラン毎に異なります）

※上記日程以降にコンテンツ制作がスタートする場合、ページオープン時に間に合わない場合がございます
※締切日以降の後乗りも可能ですが、掲載開始時期によっては特典の一部をご提供できかねる場合があります

特集ページイメージ



夜間対応・休日出勤からの脱却 現場を救う『自律型』運用マネジメント

24時間365日のシステム安定稼働を支えるIT現場は、夜間対応や休日出勤による慢性的な過重労働、属人化という深刻な課題を抱えています。本特集では、従来の「人手」に頼る保守運用から脱却し、システム自らが異常を検知・復旧する「自律型運用マネジメント」に焦点を当てます。最新のAIを活用したIT運用や自動化ツールの導入メリット、現場の負担を激減させた事例といった情報を発信します。運用の属人化を解消し、エンジニアがよりクリエイティブな戦略業務に集中できる環境構築に有効な貴社ソリューション／サービスの事例・特徴を訴求する場としてご活用ください。

キーワード	AIOps、IT自動化、オーケストレーションツール、次世代システム監視・オブザーバビリティ、ITSM（ITサービスマネジメント）、統合ログ管理・SIEM、生成AI活用型・運用アシスタント
読者の課題	業務の属人化、ITインフラの複雑化、人材不足、ノウハウの欠如、定常的な運用保守業務に掛かる多くの工数、夜間対応・休日出勤の常態化 など
想定リード属性	情報システム部門の意思決定者、ITインフラ・サーバ管理者、DX・AI推進担当、経営企画 など
実施メディア	TechTargetジャパン
実施期間	2026年10月26日（月）～12月25日（金）予定
申込締切	コンテンツ制作あり：2026年9月9日（水） コンテンツ制作なし：2026年10月2日（金）
提供リード数例	130件保証～（プラン毎に異なります）
料金例	100万円～（プラン毎に異なります）

特集ページイメージ

※上記日程以降にコンテンツ制作がスタートする場合、ページオープン時に間に合わない場合がございます
※締切日以降の後乗りも可能ですが、掲載開始時期によっては特典の一部をご提供できかねる場合があります

AI活用・ビジネスの急成長を支える データセンター&クラウド最適化戦略

生成AIの本格普及やデータ利活用の加速は、企業の成長を支える一方、ITインフラへの負荷とコストを劇的に増大させています。特に、膨大なAI処理に伴うデータセンターの電力・冷却不足や、クラウド費用の高騰は、今や深刻な経営課題です。本特集では、AI時代を生き抜くための「データセンター選定」と「クラウド最適化」の最新戦略に焦点を当てます。無駄なコストの徹底排除、エッジとクラウドの最適なデータ配置、高熱を発するAIサーバーに対応した次世代データセンター（DC）の活用法など実務に直結する情報を発信します。貴社のソリューション／サービスの事例・特徴を訴求する場としてご活用ください。

キーワード	データセンター、ハウジング / コロケーションサービス、FinOps、ハイブリッドクラウド、マルチクラウド統合管理プラットフォーム、グリーンIT など
読者の課題	社内データの分散による運用管理の複雑化、クラウド利用によるコスト増、既存データセンターの電力容量・冷却能力の限界、AIデータ通信によるネットワーク帯域の逼迫と社内システムのレスポンス遅延
想定リード属性	情報システム部門の意思決定者、ITインフラ・サーバ管理者、DX推進担当、経営企画 など
実施メディア	TechTargetジャパン
実施期間	2026年10月26日（月）～12月25日（金）予定
申込締切	コンテンツ制作あり：2026年9月9日（水） コンテンツ制作なし：2026年10月2日（金）
提供リード数例	130件保証～（プラン毎に異なります）
料金例	100万円～（プラン毎に異なります）

※上記日程以降にコンテンツ制作がスタートする場合、ページオープン時に間に合わない場合がございます
※締切日以降の後乗りも可能ですが、掲載開始時期によっては特典の一部をご提供できかねる場合があります

特集ページ イメージ



決済・請求DX キャッシュフローを改善する最新ソリューション

企業の成長を支える上で、健全なキャッシュフローの維持は不可欠です。しかし多くのBtoB企業では、手作業による請求書発行、入金消込の遅延、未収債権の回収漏れといったアナログな運用が資金効率悪化の要因となっています。本特集では、決済・請求プロセスのデジタル化によってキャッシュフローを劇的に改善する最新DX戦略に焦点を当てます。AIを活用した入金消込の自動化、BtoB決済のオンライン化、債権回収の早期化ソリューションといったDXツールを特集します。経理部門の業務負担を激減させ、企業の資金流動性を改善する貴社のソリューション／サービスの事例・特徴を訴求する場としてご活用ください。

キーワード	請求管理プラットフォーム / 電子請求書発行システム、入金消込・債権管理システム、BtoB決済代行サービス、クラウド会計システム、ファクタリングサービス など
読者の課題	膨大なアナログ業務・属人化、売掛金の回収漏れや滞留状況の可視化、システム間のデータ連携、取引先の多様な決済ニーズ（カード決済、オンライン後払い等）への対応遅れ など
想定リード属性	経理・財務部門、情報システム部門、経営企画職、DX推進担当 など
実施メディア	TechTargetジャパン
実施期間	2026年10月26日（月）～12月25日（金）予定
申込締切	コンテンツ制作あり：2026年9月9日（水） コンテンツ制作なし：2026年10月2日（金）
提供リード数例	130件保証～（プラン毎に異なります）
料金例	100万円～（プラン毎に異なります）

※上記日程以降にコンテンツ制作がスタートする場合、ページオープン時に間に合わない場合がございます
※締切日以降の後乗りも可能ですが、掲載開始時期によっては特典の一部をご提供できかねる場合があります

特集ページイメージ



【IT全般】 スポンサープラン：Aパターン

ご提供内容	記事制作 + サーベイプラン	記事制作プラン	リード増量プラン
オンラインリード獲得 - 件数保証でご提供いたします - 属性はユーザー企業となります ※獲得条件の変更は、担当営業までお問い合わせください	250件保証	180件保証	150件保証
コンテンツ制作オプション - リード獲得用のコンテンツを制作します - アンケートの設問内容は貴社にてご用意ください	- 編集タイアップ x 1 - サーベイフォーム x 1	編集タイアップ x 1	—
必要となる新規コンテンツ数 - お手持ちのコンテンツをご用意ください - 記事制作を含むプランでは、新規制作するコンテンツに加えて、右記の本数をご用意ください	貴社コンテンツ x 2	貴社コンテンツ x 2	貴社コンテンツ x 2
企画特典 本企画の協賛で、右記の特典をご提供いたします	- ピックアップテーマのミドルページに掲載 - 特集限定のお得なディスカウント価格		
ご協賛料金	¥2,400,000 (定価から30万円OFF) <u>=コンテンツ制作が実質半額</u>	¥1,800,000 (定価から24万円OFF) <u>=タイアップ記事制作が実質半額</u>	¥1,200,000 (定価から10万円OFF)

※ 値引き額はカテゴリBのリード単価で算出しています。カテゴリA、Cの商材でご出稿の場合 値引き額は異なります。

※ 必要コンテンツ数のご準備が難しい場合は、**新規コンテンツ制作（有償オプション）**や**ITmediaコンテンツの利用（無償利用可）**をご提案可能です

※ 本企画では獲得ペースに応じて**【電話によるコンテンツへの誘導】****【コンテンツ追加依頼】**などの獲得進捗向上施策を行う場合がございます

※ 「ユーザー企業」プランは、会員登録時に下記の業種を選択している会員を納品いたします。

製造業（IT関連以外）／ 通信サービス業／流通・小売・サービス業／建設・建築業／金融業・保険業／教育・学習支援業／医療・福祉／政府・官公庁・団体／その他の業種

【IT全般】 スポンサープラン：Bパターン

ご提供内容	記事制作 + サーベイプラン	記事制作プラン	リード増量プラン
オンラインリード獲得 - 件数保証でご提供いたします - 属性はユーザー企業となります ※獲得条件の変更は、担当営業までお問い合わせください	250件保証	150件保証	130件保証
コンテンツ制作オプション - リード獲得用のコンテンツを制作します - アンケートの設問内容は貴社にてご用意ください	- 編集タイアップ × 1 - サーベイフォーム × 1	編集タイアップ × 1	—
必要となる新規コンテンツ数 - お手持ちのコンテンツをご用意ください - 記事制作を含むプランでは、新規制作するコンテンツに加えて、右記の本数をご用意ください	貴社コンテンツ × 3	貴社コンテンツ × 3	貴社コンテンツ × 3
企画特典 本企画の協賛で、右記の特典をご提供いたします	- ピックアップテーマのミドルページに掲載 - 特集限定のお得なディスカウント価格		
ご協賛料金	¥2,400,000 (定価から30万円OFF) <u>=コンテンツ制作が実質半額</u>	¥1,550,000 (定価から25万円OFF) <u>=タイアップ記事制作が実質半額</u>	¥1,000,000 (定価から14万円OFF)

※ 値引き額はカテゴリBのリード単価で算出しています。カテゴリA、Cの商材でご出稿の場合 値引き額は異なります。

※ 必要コンテンツ数のご準備が難しい場合は、**新規コンテンツ制作（有償オプション）**や**ITmediaコンテンツの利用（無償利用可）**をご提案可能です

※ 本企画では獲得ペースに応じて**【電話によるコンテンツへの誘導】****【コンテンツ追加依頼】**などの獲得進捗向上施策を行う場合がございます

※ 「ユーザー企業」プランは、会員登録時に下記の業種を選択している会員を納品いたします。

製造業（IT関連以外）／ 通信サービス業／流通・小売・サービス業／建設・建築業／金融業・保険業／教育・学習支援業／医療・福祉／政府・官公庁・団体／その他の業種

製造



【製造・建設】特集展開イメージ

メディア上から誘導



特集ページを新設



貴社コンテンツへ誘導



リード納品

獲得したリードは管理サイトでダウンロードできます（日次更新）



関心・専門性の高い会員を誘導

TechFactory、MONOistを中心とする当社運営の製造業向けメディア会員へメールや電話で貴社コンテンツへ誘導いたします



特集テーマ: サプライチェーンの新基準 「SCS評価制度」 対策

2026年度末の運用開始が迫る「SCS評価制度」 「★3」「★4」獲得に向けたリスク可視化と対策ツールを特集

取引先を足がかりにしたサイバー攻撃が深刻化する中、日本のサプライチェーンを守る新たな枠組みとして、経済産業省が主導する「SCS評価制度（サプライチェーン強化に向けたセキュリティ対策評価制度）」への注目が高まっています。2026年3月の構築方針確定を経て、2026年度末頃の運用開始が見込まれる本制度は、これからのサプライチェーンにおける新たな信頼性の基準になることが予想されています。企業に求められる「★3」や「★4」といった指標をクリアするためには、形式的なチェックにとどまらず、自社のリスクを可視化し、実際のセキュリティレベルをいかに向上させるかが重要です。本特集では、SCS評価制度について分かりやすく整理し、対応を支えるデジタルツールを発信します。

キーワード	SCS評価制度（サプライチェーン強化に向けたセキュリティ対策評価制度）、リスク可視化、資産台帳管理、多要素認証（MFA）、取引先・サプライヤー管理、エンドポイントセキュリティ、マルウェア対策、EDR、インシデント対応計画 など
読者・会員 課題	「★獲得」に向けた自社リスクの可視化、取引先のセキュリティ評価 など
想定リード属性	製造業の生産・調達・モノづくりに関わる方、情報システム、経営企画職 など
実施メディア	TechFactory／MONOist
実施期間	2026年10月26日（月）～12月25日（金）予定
申込締め切り	プラチナ／ゴールドプラン：2026年9月9日（水） シルバー／ブロンズプラン：2026年10月2日（金）
提供リード数	80件保証～（プラン毎に異なります）
料金	70万円～（プラン毎に異なります）

特集ページ イメージ

貴社ロゴ掲載

ご協賛社様コンテンツ掲載

制作したタイアップ記事や貴社製品・ソリューションに関するホワイトペーパーやウェビナーを掲載

関連記事掲載

テーマに関する最新事例などを紹介した編集記事を掲載

特集テーマ:欧州サイバーレジリエンス法（CRA）対応へのロードマップ

動き出した欧州サイバーレジリエンス法 規制対応を実現するデジタルツールを組み込み開発者向けに発信

2026年9月11日から「脆弱性・インシデント報告」の義務化が先行開始され、2027年12月には全面適用が控える欧州サイバーレジリエンス法（CRA）。EU市場に製品を供給する日本企業にとって、製品レベルでのセキュリティ対応は「待ったなし」の共通課題となっています。しかし、「何から手を付け、どう備えればいいのか」と足踏みをしている現場は少なくありません。激変する規制環境を乗り越え、製品の安全性を効率的に確保するために、いま日本のものづくり企業が知るべき選択肢とは。これからの製品セキュリティの土台を築くための最新のデジタルツールを組み込み設計者に発信します。

キーワード	欧州サイバーレジリエンス法、静的解析、動的解析、オープンソースソフトウェア管理、SBOM、Root of Trust、暗号化技術、セキュアバイデザイン、組み込み型セキュリティソフトウェア、セキュアコーディングガイドラインなど
読者・会員 課題	欧州サイバーレジリエンス法対応、セキュアな製品開発環境、ソフトウェアBOMの管理
想定リード属性	製造業の製品企画、研究・開発・設計 業務に関わる方
実施メディア	TechFactory／MONOist
実施期間	2026年10月26日（月）～12月25日（金）予定
申込締め切り	プラチナ／ゴールドプラン：2026年9月9日（水） シルバー／ブロンズプラン：2026年10月2日（金）
提供リード数	80件保証～（プラン毎に異なります）
料金	70万円～（プラン毎に異なります）

特集ページイメージ

貴社ロゴ掲載

ご協賛社様コンテンツ掲載

制作したタイアップ記事や貴社製品・ソリューションに関するホワイトペーパーやウェビナーを掲載

関連記事掲載

テーマに関連する最新事例などを紹介した編集記事を掲載

特集テーマ:需要予測から生産計画までを繋ぐ「AIサプライチェーン最適化」

地政学リスクや部材不足に揺るがない強靱なモノづくりへ AIで実現する次世代サプライチェーンを特集

製造業において競争力の源泉であるサプライチェーン業務ですが、近年では地政学リスクや急激な需要変動、部材不足などを背景に、可視化と最適化によるレジリエンス（回復力）強化のニーズが高まっています。しかし多くの現場では、販売・物流データと製造現場の状況が分断されており、急な変動に即応できず過剰在庫や機会損失が発生しているのが実態です。そこで注目されているのが、フィジカル（現場）とデジタルを横断した意思決定の高度化です。AIを活用した高精度な需要予測や在庫の最適配置、生産計画の最適化、サプライチェーン全体の可視化など、「フィジカルとデジタルを横断したサプライチェーン改革」に役立つ情報にフォーカスし、製造業読者に向けて情報を発信していきます。

キーワード

SCM、サプライチェーン可視化、生産計画最適化、在庫最適化、SCM、供給リスク管理、サプライチェーンレジリエンス、ERP、データ統合、データ分析、AI需要予測 など

読者・会員 課題

需給調整・在庫判断の属人化、部材不足 など

想定リード属性

製造業の生産・調達・物流などサプライチェーンに関わる方、情報システム、経営企画職 など

実施メディア

TechFactory／MONOist

実施期間

2026年10月26日（月）～12月25日（金）予定

申込締め切り

プラチナ／ゴールドプラン：2026年9月9日（水）
シルバー／ブロンズプラン：2026年10月2日（金）

提供リード数

80件保証～（プラン毎に異なります）

料金

70万円～（プラン毎に異なります）

特集ページイメージ



特集テーマ:AI時代を支える「ものづくりのデータ基盤としてのPLM」

部分的な活用から、全社を繋ぐデータ連携へ AI活用を見据え、データ統合の具体的なアプローチを特集します

製品の企画から設計、製造、保守までを包括的に管理するPLM。製造業の競争力を左右する中核ソリューションとして、いまその役割がかつてない次元へと進化しています。変革の背景にあるのは、ものづくり工程のデジタル化が進む一方で生じた、部門間のデータ分断という課題です。各工程の成果を全社で共有し、シームレスな「デジタル連続性」を確保するための基盤として、PLMの重要性が改めて再評価されています。さらに、生成AIをはじめとするAI活用の本格化を見据え、AIが学習・推論するための高精度なデータ基盤としての役割にも期待が集まっています。本特集では、AI時代におけるものづくりのプラットフォームとして進化を遂げる、最新のPLMソリューションを発信します。

キーワード	PLM、BOM、BOP、デジタルスレッド
読者・会員 課題	部門間のデータ連携、業務の属人化、人手が必要な多くのアナログ業務
想定リード属性	製造業の研究・開発・設計部門、生産管理・工場部門などでモノづくりに関わる方
実施メディア	TechFactory／MONOist
実施期間	2026年10月26日（月）～12月25日（金）予定
申込締め切り	プラチナ／ゴールドプラン：2026年9月9日（水） シルバー／ブロンズプラン：2026年10月2日（金）
提供リード数	80件保証～（プラン毎に異なります）
料金	70万円～（プラン毎に異なります）

特集ページイメージ

貴社ロゴ掲載

ご協賛社様コンテンツ掲載

制作したタイアップ記事や貴社製品・ソリューションに関するホワイトペーパーやウェビナーを掲載

関連記事掲載

テーマに関連する編集記事を掲載

特集テーマ:SDV時代を勝ち抜く 車載ソフトウェア開発の最前線

ソフトウェアの大規模化とサイバー攻撃に備える 設計・開発の効率化と「車載セキュリティ」の最新ツールを特集

自動車の開発においてソフトウェアの重要性がますます高まる中、SDVへの対応は自動車業界全体の不可欠なテーマとなっています。そのためには、大規模化・複雑化する車載ソフトウェアをスピーディーに設計・開発するための新たな開発環境や効率化ツールの導入だけでなく、コネクテッド化に伴うサイバー攻撃の脅威から車両を守るためのセキュリティ対策、自動車のサイバーセキュリティ法規「UN-R155」に準拠した脆弱性診断技術などの進歩も欠かせません。SDV時代に対応する車載ソフトウェアの開発・設計効率化ソリューションや、安全性を担保する車載セキュリティ技術に焦点を当てます。

キーワード

モデルベース開発、テスト・検証・計測ツール、リアルタイムOS、クラウド環境での開発体制、車載・組み込みソフトウェア開発ツール、CSMS、SUMS、車載ECU、ALM、脆弱性テスト、SIEM、OTAソフトウェアアップデート、車載イーサネット、セキュリティモジュール、SBOM管理 など

読者・会員 課題

開発期間や工数の短縮・削減、国際法規への対応、脆弱性の管理負荷 など

想定リード属性

自動車業界の研究・開発・設計に携わる方

実施メディア

TechFactory／MONOist

実施期間

2026年10月26日（月）～12月25日（金）予定

申込締め切り

プラチナ／ゴールドプラン：2026年9月9日（水）
シルバー／ブロンズプラン：2026年10月2日（金）

提供リード数

80件保証～（プラン毎に異なります）

料金

70万円～（プラン毎に異なります）

特集ページ イメージ



特集テーマ:AIで実現する設備保全の技術伝承

熟練工に依存する「属人化」から脱却し、「技術継承」をどう実現するか？ 予兆保全AIからペーパーレスまで、業務変革をもたらす「AI×設備保全」を特集

製造業において欠かせない設備保全業務ですが、近年では熟練エンジニア不足やさらなるコスト削減需要などを背景に、AI活用やDXの推進による業務変革のニーズが高まっています。機械の振動や異音から故障の兆候を捉える「予兆保全AI」や、熟練者の判断基準を対話形式で引き出す「生成AIマニュアル」の活用はもちろん、現場の安全性を高めるAI対策から、スマートグラスを用いた「遠隔作業支援」、点検業務の標準化とノウハウ蓄積を両立する「ペーパーレス化（現場帳票）」まで、設備保全を強化し、技能伝承を現場で具現化する最新ソリューションにフォーカスします。属人化を解消し、突発的な設備停止を防ぐ、次世代「スマートメンテナンス」の最前線に迫ります。

キーワード	設備保全システム、産業用AI、AI監視カメラ、AIエージェント、予兆保全、AI故障診断、安全対策ソリューション、遠隔作業支援システム、ナレッジ検索システム、AI-OCR など
読者・会員 課題	設備保全・点検業務の属人化、紙ベースでの情報共有、人手不足 など
想定リード属性	製造業のモノづくりに携わる方・情報システム職・経営企画職 など
実施メディア	TechFactory／MONOist
実施期間	2026年10月26日（月）～12月25日（金）予定
申込締め切り	プラチナ／ゴールドプラン：2026年9月9日（水） シルバー／ブロンズプラン：2026年10月2日（金）
提供リード数	80件保証～（プラン毎に異なります）
料金	70万円～（プラン毎に異なります）

特集ページイメージ

貴社ロゴ掲載

ご協賛社様コンテンツ掲載

制作したタイアップ記事や貴社製品・ソリューションに関するホワイトペーパーやウェビナーを掲載

関連記事掲載

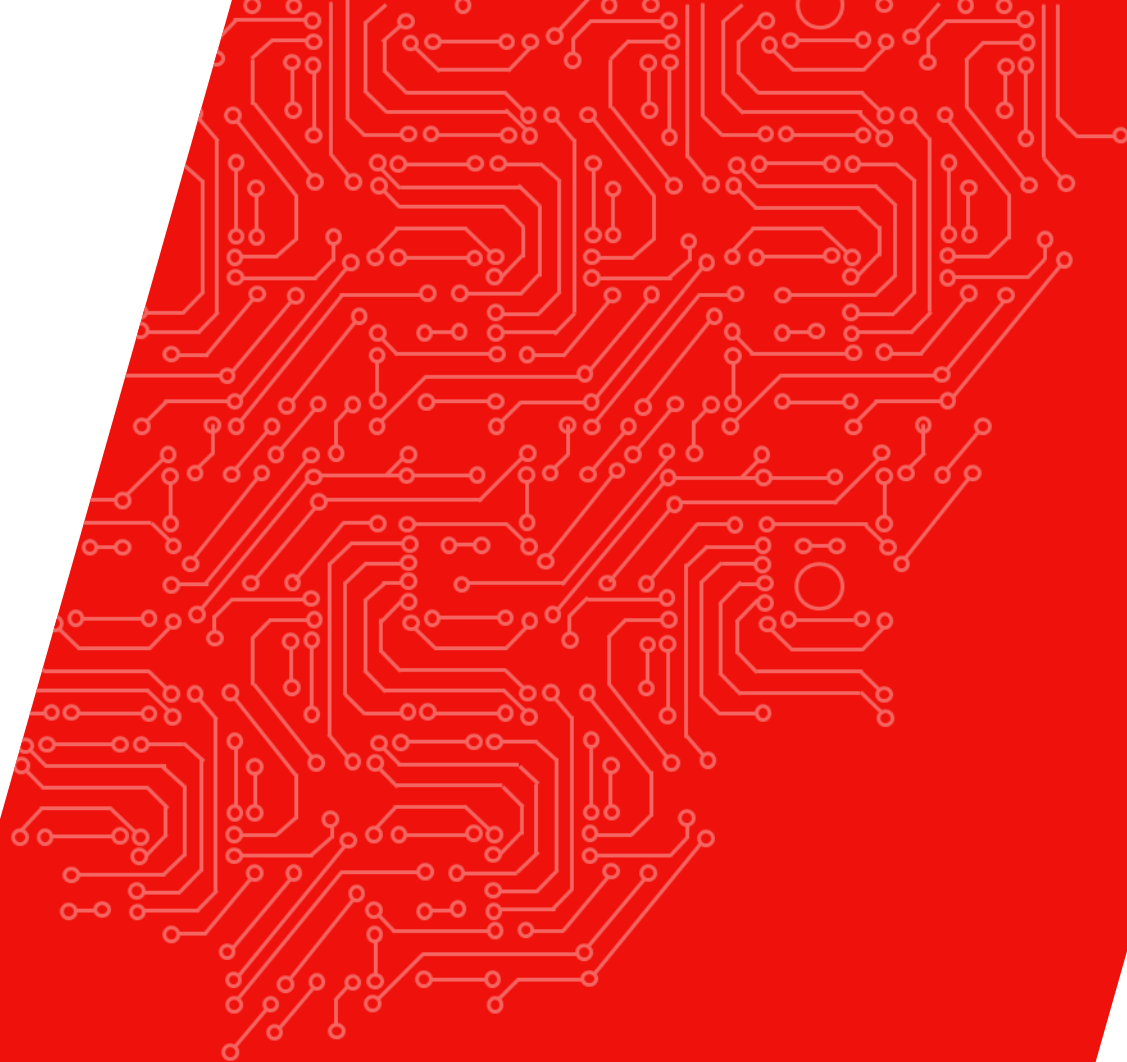
テーマに関連する最新事例などを紹介した編集記事を掲載

特集テーマ：「製造スポンサープラン」

	プラチナプラン ¥2,500,000 (110万円OFF)	ゴールドプラン ¥1,700,000 (70万円OFF)	シルバープラン ¥1,100,000 (40万円OFF)	ブロンズプラン ¥700,000 (20万円OFF)
ご提供リード数 ・セグメント条件の設定はありません	280件保証	160件保証	140件保証	80件保証
コンテンツ数	4本	2本	2本	2本
タイアップ記事制作	1本	1本		
ホワイトペーパーご支給 ※お手持ちのコンテンツをご用意ください	3本	1本	2本	2本

- ※ 料金は税別、グロスです。
- ※ ホワイトペーパーをお持ちでない場合、別途費用が発生しますが制作プランがありますので、担当営業までご相談ください。
- ※ プランのカスタマイズも可能です。担当営業までご相談ください。
- ※ ご協賛状況により、実施見合わせとなる可能性がありますので、予めご了承ください。
- ※ リード獲得期間は2カ月間を想定しています

建設



ピックアップテーマ:建設×AI ～現場“雑務”はAIに任せる時代、AI実装ガイド～

業務の効率化を劇的に加速させる建設×AIツールを特集

深刻化する人手不足の中で、いかに現場の生産性を高め、限られた人員で品質を維持・向上させるかが建設業界の最大の課題となっています。そこで今、最も注目されているのが「AI」の活用です。生成AIや特化型AIがアシスタントとなり、日々の煩雑な帳票作成や建設関連法令の検索、スケジュール調整といった業務を代替することで、無駄な作業が削減されます。その結果、現場管理者は、対人の合意形成や施工品質の向上など、本来注力すべき業務に集中することが可能になります。本特集では、現場のワークスタイルを変革し、劇的な省力化・省人化を実現する「建設×AI」のソリューション群やユースケースを建設業の実装ガイドとして紹介します。貴社の先進的なツールやサービスをPRする機会として、ぜひ本特集をご活用いただけますと幸いです。

キーワード	現場管理（施工／工程／検査管理）、AIカメラ、AI-OCR、自動積算、議事録自動化、リスク予兆検知、検索拡張生成（RAG）、AIエージェント、図面・3Dモデル生成 など
読者・会員 課題	煩雑な事務作業時間、長時間労働、アナログ業務での現場管理 など
想定リード属性	建設業のゼネコン・サブコンで設計管理・施工管理業務に関わる方、経営企画職 など
実施メディア	TechFactory／BUILT
実施期間	2026年9月26日（月）～12月25日（金）予定
申込締め切り	プラチナ／ゴールドプラン：2026年9月9日（水） シルバープラン：2026年10月2日（金）
提供リード数	60件保証～（プラン毎に異なります）
料金	60万円～（プラン毎に異なります）

特集ページイメージ

貴社ロゴ掲載

ご協賛社様コンテンツ掲載

制作したタイアップ記事や貴社製品・ソリューションに関するホワイトペーパーやウェビナーを掲載

関連記事掲載

テーマに関する最新事例などを紹介した編集記事を掲載

特集テーマ：「建設スポンサープラン」

	プラチナプラン ¥1,400,000 (60万円OFF)	ゴールドプラン ¥1,100,000 (42万円OFF)	シルバープラン ¥600,000 (22万円OFF)
ご提供リード数 ・セグメント条件の設定はありません	100件保証	60件保証	60件保証
コンテンツ数	2本	1本	2本
タイアップ記事制作	1本	1本	
ホワイトペーパーご支給 ※お手持ちのコンテンツをご用意ください	1本		2本

- ※ 料金は税別、グロスです。
- ※ ホワイトペーパーをお持ちでない場合、別途費用が発生しますが制作プランがありますので、担当営業までご相談ください。
- ※ プランのカスタマイズも可能です。担当営業までご相談ください。
- ※ ご協賛状況により、実施見合わせとなる可能性がありますので、予めご了承ください。
- ※ リード獲得期間は2カ月間を想定しています

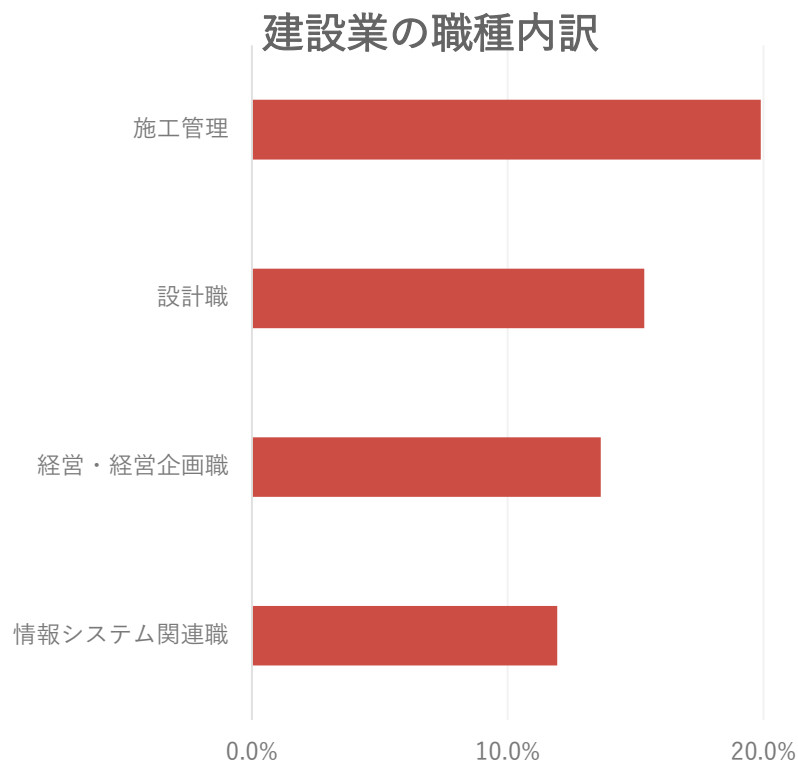
過去実施の建設DX特集での実績

建設業の施工管理や設計職、情報システム関連職のリードを多数獲得

【TechFactoryでのリード納品実績】

建設業
41.8%

ゼネコン（総合建設業）：13.4%
その他建設業：6.1%
サブコン（専門建設業）：5.0%
・
・



会社名（一部抜粋）
大成建設株式会社
株式会社大林組
鹿島建設株式会社
株式会社竹中工務店
大和ハウス工業株式会社
西日本プラント工業株式会社
日比谷総合設備株式会社
千代田化工建設株式会社
株式会社第一ヒューテック
株式会社総合デザイン

制作物仕様・オプション



編集部が企画、取材、編集を担当するタイアップ記事を制作（二次利用も可能）

- 編集タイアップについて
 - 編集部が企画、取材、編集を担当するタイアップ記事広告です
 - 冒頭部分はだれでも閲覧でき、「続きを読む」でリードを獲得します
- コンテンツ仕様
 - ページ数：1html
 - 文字数：4,000文字程度（うち、500文字程度が公開ページ掲載分）
 - 図版点数：3点まで（写真／イメージ図版主体）
 - 企画協力：あり
 - 取材有無：あり
- 備考
 - 取材から掲載までの期間は約17営業日となります
 - 原稿の校正はテキスト原稿、HTMLの各1回ずつを想定しており、校正の回数に応じて、公開までの日数は適宜変動いたします
 - 記事広告内に掲載するイメージ図版は貴社にてご用意ください
 - 終了後も一部を除きコンテンツは掲載され続けます
 - タイアップ記事のPV、UBのレポートはございません
 - 遠方での取材や有識者のアサイン、特別な制作費（イラストなど）が発生する場合は、別途追加費用を申し受けます
 - 広告主様の都合で合意いただいた内容から大きく変更を行う場合、以下費用が発生します
 - 初校の出し直し：¥300,000、念校以降の修正：¥100,000
- 二次利用について
 - 制作した記事広告の著作権は、当社および制作スタッフ（ライター、カメラマンなど）に帰属します
 - 本企画にて制作した記事広告は、改変がなければ無償で二次利用していただくことが可能です（ウェブ上での利用に限定、要出典表記）
 - 印刷物でのご利用は二次利用費が発生いたしますので、利用をご希望される場合は、担当営業までお問い合わせください
- オプション：カスタム記事パンフレット制作
 - 制作した編集タイアップ記事をPDFや印刷物でご利用いただける有料オプションもございます。詳細は担当営業までお問い合わせください

※二次利用には一部条件がございます

ITmedia

© 2020年08月20日 10時00分 公開

ニューノーマル時代のVPN課題を解決

堅牢性と利便性を両立する VPN強制と“インターネットブレイクアウト”とは？

コロナ禍のテレワークで利用者やクラウドサービスが増え、VPNの導入（ひばく）やVPN接続を徹底できないなど、VPN導入の課題が浮き彫りとなった。セキュリティと利便性の両立を実現する解決策を紹介する。

[PR/キーマンズネット]

端末のVPN接続をソフトウェアで「強制」する

「社内に端末があるとき『業務に必要なWebサイトにはアクセスできない』といったグレートウェイ対策を実施していれば、データの流出や不正なマルウェアのダウンロードといったリスクを抑えることができます。ですが、社内に端末を持ち出して、直接インターネットにアクセスしてしまうと、社内ネットワークで実施しているグレートウェイ対策が一切効かない状態となり、統制もできません。これは企業にとって大きな問題です」。こう指摘するのは、アシストの技術者、富士本 博紀氏（アクセスインフラ技術統括部）だ。

こうした問題を解決するのが、日立ソリューションズが開発した情報セキュリティ対策ソフトウェア「秘文シリーズ」の一つ、「秘文 Device Control」だ。端末のインターネット接続時に従うと想定される秘密のセキュリティリスクを最小化できる。各端末にインストールしておけば、社内の業務サーバを利用する際の通信をVPNに接続させるよう「強制」可能で、VPN経由のインターネットアクセスを促進するソフトウェアだ。

富士本氏は次のように力を込める。「秘文 Device Controlの大きなメリットは、利用者が全く意識しなくても使えるところ。直接インターネットに接続する画面を裏で禁止しているだけなので、利用者は意識通りVPNに接続して業務を遂行すればよいということです。セキュリティ製品にもかわらわらず利便性を損なわないのは、とても素晴らしい点です」。

VPN経由の接続を強制（社外利用）

接続先チェック機能の確認の結果から、社内ネットワークを通常接続、社外ならVPN接続の通信のみ許可するようにします。

図1 VPN接続強制機能とは（出典：アシスト）

どのように端末の社外利用を判定するのか

社外には、自宅Wi-Fiだけでなく喫茶店や駅の公衆無線LANなどさまざまなアクセスポイントがある。秘文 Device Controlは端末が社外からの利用であると判定しVPN接続を強制するというが、どのように社内/社外のネットワークを判定するのだろうか。

その方法は二重の仕組みとなっている。秘文 Device Controlは、接続したアクセスポイントのSSID名が、あらかじめ指定した社内のSSID名と異なる場合に社外と判定し、VPN接続を強制する。しかしこの方法だけでは、悪意を持った従業員が、社内アクセスポイントと同一SSID名を偽装できてしまう恐れがある。このため社内にあるサーバに対してping通信（応答の確認）を実行し、応答が正常に返ってくることで初めて社内ネットワークと判定する。

「社内外ネットワークの判定にIPアドレスを使っている同様のソフトは多いが、『SSID名+ping』でより厳密に確認できることが秘文 Device Controlの特長です」と富士本氏は強調する。

サーベイフォーム 仕様詳細

サーベイフォームで製品の導入状況や今後の予定、課題などを聞き取りしつつ、リードを獲得

- サーベイフォームについて
 - アンケートの設問内容は貴社にてご用意ください
 - 準備期間は、設問内容確定・ご共有後、約6営業日となります
- サーベイフォーム仕様
 - 設問タイプ：シングルアンサー、マルチアンサー、テキストボックス
 - 必須回答／任意回答：設定可能
 - 設問数：10問以内（「その他」の具体的な内容を記載する枠を設ける場合も1問としてカウントします）
 - 各問の選択肢：10個以内
 - 設問数・選択肢数が10問を超える場合は、原則対応できかねます。必要な場合、対応可否と追加料金のお見積もりを別途協議させていただきます。
- 設問の制作代行
 - 当社による設問設計は有償にて承ります（20万円／アンケート1点）
 - ヒアリングシートをご共有いただいてから約16営業日で公開可能です（複数本同時に制作する場合は要調整）
 - 設問制作にあたってご希望をインプットいただく場として、お打ち合わせのご実施が可能です（任意／30分程度）
- インセンティブ
 - 回答促進のためのインセンティブとして、3万円分のAmazonギフトカードが料金に含まれています
 - 貴社にてご手配いただく景品をインセンティブにすることも可能です
- 備考
 - サーベイフォームのみでは製品・サービスに対する認知獲得が難しいため、コンテンツを用いてのリードジェンとの併用をお勧めします

「Web会議やコミュニケーション」に関するアンケート

開催日時	2023年10月10日（日）まで
開催場所	Zoom（Web会議）またはメール（メール）
主催	アイエディメディア株式会社
賞品	Amazonギフトカード（3000円分）
お問い合わせ先	メンバーシップ事務局 jp_member@edimedia.co.jp

アンケート

1 現在、働き方の多様化などに対応するため、オフィスの形態・レイアウト変更を検討していますか？（必須）

☐ 過去3年以内に検討・レイアウト変更済み

☐ 検討中・実施中

☐ 検討予定あり

☐ 未定

☐ 検討予定なし

2 オフィス環境に、社内のメンバーと一緒に参加するWeb会議の場として、最も多いものを複数選択してください。（必須）

☐ 会議室に設置された会議室用カメラとPCをタブレットで接続し、Web会議に参加

☐ 会議室に設置された会議室用カメラとPCをタブレットで接続し、PCの会議アプリケーションを起動し、Web会議に参加

☐ 会議室に設置されたカメラとPCをタブレットで接続し、Web会議に参加

☐ 会議室に設置されたカメラとPCをタブレットで接続し、Web会議に参加

☐ 会議室に設置されたカメラとPCをタブレットで接続し、Web会議に参加

☐ 会議室に設置されたカメラとPCをタブレットで接続し、Web会議に参加

☐ 会議室に設置されたカメラとPCをタブレットで接続し、Web会議に参加

☐ 会議室に設置されたカメラとPCをタブレットで接続し、Web会議に参加

☐ 会議室に設置されたカメラとPCをタブレットで接続し、Web会議に参加

☐ 会議室に設置されたカメラとPCをタブレットで接続し、Web会議に参加

3 エキスパートの経験として読んでくれるものを提供してください。（複数選択可）（必須）

☐ 会議室が広くて予約できないことが多い

☐ 全ての会議室にWebカメラとPCが設置されているわけではない

☐ 会議室に設置されたWebカメラとPCが設置されているが、接続が不安定である

☐ 会議室に設置されたWebカメラとPCが設置されているが、接続が不安定である

☐ 会議室に設置されたWebカメラとPCが設置されているが、接続が不安定である

☐ 会議室に設置されたWebカメラとPCが設置されているが、接続が不安定である

☐ 会議室に設置されたWebカメラとPCが設置されているが、接続が不安定である

☐ 会議室に設置されたWebカメラとPCが設置されているが、接続が不安定である

☐ 会議室に設置されたWebカメラとPCが設置されているが、接続が不安定である

☐ 会議室に設置されたWebカメラとPCが設置されているが、接続が不安定である

アンケートを送信する

画面内所有権情報：2023年11月30日

ホワイトペーパー 仕様詳細

- ・ ホワイトペーパーについて
 - － 当社パートナーの編集プロダクションが取材・制作するPDFコンテンツです
 - － ホワイトペーパーダウンロードセンターに掲載してリードを獲得します
 - － コンテンツ内容は「製品／サービス紹介」「導入事例」「セミナーレポート」からいずれかお選びください

- ・ コンテンツ仕様
 - － ページ数：2ページ／4ページ
 - － 文字数：約2,000文字／約4,000文字
 - － 図版点数：2点まで／4点まで
 - － 企画協力：なし（貴社ご記入のヒアリングシートをもとに取材）
 - － 取材有無：あり
 - － デザイン／ファイル形式：指定フォーマット（右図）、PDF（Web解像度）

- ・ コンテンツ内容
 - － セミナーレポートの取材は2セッションまでとなります
 - － 製品／サービス解説、導入事例は、それぞれ下記の4章構成となります

製品／サービス解説

1. 市場背景の解説
2. 課題の提示
3. 解決策の提示
4. 製品情報の紹介

導入事例

1. 導入企業紹介
2. 導入企業が抱えていた課題
3. 選定理由、具体的な課題解決方法
4. 導入によって得られた成果

- ・ 備考
 - － ホワイトペーパーの取材、制作進行は編集プロダクションに委託しています
 - － 取材から掲載までの期間は約23～25営業日となります
 - － ホワイトペーパーに掲載するイメージ図版、写真は貴社にてご用意ください
 - － リード収集終了後もコンテンツは掲載され続けます
 - － 遠方取材となる場合は、交通費ならびに遠方取材費を申し受けます（Web会議は追加費用なし）
 - － 製品／サービス解説、導入事例、セミナーレポート以外の企画をご希望の際はご相談ください
 - － 広告主様の都合で合意いただいた内容から大きく変更を行う場合、以下費用が発生します
 - ・ 初校の出し直し：¥100,000、念校以降の修正：¥50,000

- ・ 二次利用について
 - － 制作したホワイトペーパーは、ウェブ、印刷物問わず無償で二次利用していただけます（当社以外のメディアへの掲載も可能です）

制作料金

2ページ：¥200,000～

リードを含めた最低実施料金：¥600,000～

4ページ：¥400,000～

リードを含めた最低実施料金：¥800,000～

アイティメディア株式会社

IT管理者目線で比べる DaaS vs. VDI、選択の基準とは？ 管理者を悩ませる2つの仮想デスクトップ、選択の基準とは

DaaSとVDIは共通点も相違点も多く、どちらを優先するかを決めるのは難しい。管理性、カスタマイズ性、価格、稼働性など、IT管理者が実際に当たって確認すべきポイントを解説する。

DaaS vs. VDI

「DaaS」(Desktop as a Service)と「VDI」(Virtual Desktop Infrastructure)は、大きく異なると思っている人ももちろんいるが、両者には共通部分が多い。すなわち、デスクトップ管理が簡素化されること、ハードウェアの数を減らせること、柔軟性とモバイル性が向上することなどである。しかし、セキュリティやライセンス、データのコントロールなど、DaaSにも克服すべき課題が残されている。「DaaS」(Desktop as a Service)と「VDI」(Virtual Desktop Infrastructure)は、大きく異なると思われている人ももちろんいるが、両者には共通部分が多い。すなわち、デスクトップ管理が簡素化されること、ハードウェアの数を減らせること、柔軟性とモバイル性が向上することなどである。しかし、セキュリティやライセンス、データのコントロールなど、DaaSにも克服すべき課題が残されている。

「DaaS」(Desktop as a Service)と「VDI」(Virtual Desktop Infrastructure)は、大きく異なると思っている人ももちろんいるが、両者には共通部分が多い。すなわち、デスクトップ管理が簡素化されること、ハードウェアの数を減らせること、柔軟性とモバイル性が向上することなどである。しかし、セキュリティやライセンス、データのコントロールなど、DaaSにも克服すべき課題が残されている。「DaaS」(Desktop as a Service)と「VDI」(Virtual Desktop Infrastructure)は、大きく異なると思われている人ももちろんいるが、両者には共通部分が多い。すなわち、デスクトップ管理が簡素化されること、ハードウェアの数を減らせること、柔軟性とモバイル性が向上することなどである。しかし、セキュリティやライセンス、データのコントロールなど、DaaSにも克服すべき課題が残されている。

向上することなどである。しかし、セキュリティやライセンス、データのコントロールなど、DaaSにも克服すべき課題が残されている。

「DaaS」(Desktop as a Service)と「VDI」(Virtual Desktop Infrastructure)は、大きく異なると思っている人ももちろんいるが、両者には共通部分が多い。すなわち、デスクトップ管理が簡素化されること、ハードウェアの数を減らせること、柔軟性とモバイル性が向上することなどである。しかし、セキュリティやライセンス、データのコントロールなど、DaaSにも克服すべき課題が残されている。「DaaS」(Desktop as a Service)と「VDI」(Virtual Desktop Infrastructure)は、大きく異なると思われている人ももちろんいるが、両者には共通部分が多い。すなわち、デスクトップ管理が簡素化されること、ハードウェアの数を減らせること、柔軟性とモバイル性が向上することなどである。しかし、セキュリティやライセンス、データのコントロールなど、DaaSにも克服すべき課題が残されている。

「DaaS」(Desktop as a Service)と「VDI」(Virtual Desktop Infrastructure)は、大きく異なると思っている人ももちろんいるが、両者には共通部分が多い。すなわち、デスクトップ管理が簡素化されること、ハードウェアの数を減らせること、柔軟性とモバイル性が向上することなどである。しかし、セキュリティやライセンス、データのコントロールなど、DaaSにも克服すべき課題が残されている。「DaaS」(Desktop as a Service)と「VDI」(Virtual Desktop Infrastructure)は、大きく異なると思われている人ももちろんいるが、両者には共通部分が多い。すなわち、デスクトップ管理が簡素化されること、ハードウェアの数を減らせること、柔軟性とモバイル性が向上することなどである。しかし、セキュリティやライセンス、データのコントロールなど、DaaSにも克服すべき課題が残されている。

1 IT 実行環境はクラウドで DaaS vs. VDI、選択の基準とは？



■お問い合わせ

アイティメディア株式会社 営業本部
〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町3-12
紀尾井町ビル 13階

<https://promotion.itmedia.co.jp/contact>